

## 令和3年度 第8回 政策調整会議 会議録

- 
- ◆開催日時：令和3年11月22日（火） 10：00～11：00
  - ◆開催場所：第1委員会室
  - ◆出席委員：堤副市長、戎井副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、寺本財務部長、源消防長、松下まちづくり推進部長、岸建設部長
- 

### ◆審議事項

- ・①消防施設等計画の策定
  - ②ゆめみヶ丘消防施設等の建設について・・・・・・・・・・・・・・・・消防本部総務課⇒承認
- 

### ◆審議概要

#### 『①消防施設等計画の策定

#### ②ゆめみヶ丘消防施設等の建設について』

〈説 明 者〉雪本消防次長、武田総務課長、岬担当司令、坂本係長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉「迅速化」はかねてからの課題であった。多くの地域で救急現場到着時間が7～8分となり、かなり短縮される。しかし、全国の自治体をみると決して早いと自慢できるものではない。さらなる迅速化のためには、機動性をより活かせるよう、道路等のインフラ整備も重要。また、救急・消防技能向上のためには「人材の確保・育成」が極めて大切。老朽化している施設の更新など職場環境の改善は、消防職員の確保にもつながるため、計画的かつ早急に行ってほしい。

〈戎井副市長〉資料に、救急現場到着時間が8分を超える町として示されている中に、分署や出張所に近い町も含まれている。これはなぜか。

〈消防次長〉救急隊の現場到着時間は、入電から誘導人もしくは傷病者を確認した時点までを計測することになっている。道路事情や団地などの要素があると少し長くなってしまう。

〈戎井副市長〉緊急防災減災事業債を活用するにあたり、防災備蓄倉庫や消防署団員用訓練施設の整備は必須要件か。

〈消防次長〉備蓄倉庫等の整備は必須とされているが、規模の規定はない。ただし、災害時を想定して整備をすることとなり、どの程度の災害を想定して規模を考えるかは重要な課題となるため、現在協議を行っているところである。

〈戎井副市長〉必要に応じ、機を逃さず活用できるようにすること。防災備蓄倉庫等も協議中とのことだが、危機管理部では民間の倉庫の活用を考えている。市の負担の面でどちらが有利なのか協議されたい。また、民間事業者から協力を得る場合、災害時に備蓄品の配

送も担ってもらえることがメリットである。そういった機動面も含めて協議するように。

〈消 防 次 長〉承知した。

〈戎井副市長〉春木分署や八木出張所等は老朽化の問題があるが、会議室等のスペースを共用するなど、公民館など他の公共施設と合わせて整備することも考えられる。合理化を図っていくように。

〈教 育 長〉東葛城地域において、東葛城出張所の移転による機能強化といった効果などを十分説明できるようにしておくこと。東葛城地域においては救急現場到着時間8分を確保できるようにするが、同様に救急隊が配置されていない八木出張所についてはどうなっているのか。

〈消 防 長〉八木地域や天神山地域は、大沢や塔原のように15～20分かかかるような地域ではなく、9～10分程度の地域であり、極端に遅れの生じている地域ではない。

〈教 育 長〉大阪府南ブロック消防相互応援協定について、八木地域には、例えば泉大津市から救急隊に来てもらうということは可能か。

〈消 防 次 長〉忠岡町とは共同運用を行っているところであるが、泉大津市とは共同運用の協定を結んでいない。ただし、現状でも近隣市町の消防とは応援体制が取れるようになっている。

〈教 育 長〉「ゆめみヶ丘消防施設等建築計画書」の資料の中に「火災等の規模によっては、ゆめみヶ丘消防施設の救急隊が消防隊として出場し、消防隊が2隊となる」とあるが、この間救急はどうなるのか。

〈消 防 次 長〉本署や山直分署でカバーするが、長時間になる場合は、救急隊1隊を待機させるなどの体制を整える予定。

〈まちづくり推進課〉人によっては迷惑施設と捉えられることもある。地域での合意は得られそうか。

〈消 防 次 長〉丘陵地区整備課にアドバイスを求め、丘陵土地区画整理組合の組合長やゆめみヶ丘岸和田まちづくり協議会会長、東葛城校区の町会長に口頭で説明したところ、良い反応をいただいている。

〈総 務 部 長〉春木分署及び八木出張所の統合・移転について、関係機関と調整するように。

〈消 防 次 長〉移転先の決定にあたっては十分協議する。

〈財 務 部 長〉計画期間はいつまでか。

〈消 防 次 長〉山直、春木、八木のいずれの施設も老朽化が進んでいるため、ゆめみヶ丘消防施設等の建設の検討と同時に、他の署所についても検討していく必要がある。関係部署と協議をし、できる限り早く進めていきたいと考えている。

〈財 務 部 長〉ゆめみヶ丘消防施設等の建設とあまり時期が変わらないという認識でよいか。

〈消 防 次 長〉そのように考えている。ただし、緊急防災減災事業債が現状令和7年度末までであり、間に合わせるの難しい。有利な起債の活用ができるかは不透明だが、迅速に計画を進めていきたい。

〈財 務 部 長〉できる限り早く移転地や費用、期間など計画の全体像、規模感を明らかにしてもらいたい。ゆめみヶ丘消防施設の延べ面積は903㎡で、参考として挙げられている和泉市消防本部中央署や泉州南広域消防本部南西分署と比較すると、かなり小規模になっているが、問題はないか。

〈消 防 次 長〉公共施設全体の総面積や財政的な負担も考慮し協議を重ねた結果、現状の面積になっ

ている。代わりに、現在協議中の防災備蓄倉庫は、非常時の緊急消防援助隊等の隊員の仮眠スペースなど、他の用途に代用できるよう十分な面積を確保したいと考えている。

〈財務部長〉岸城分署の面積はどれくらいか。

〈消防長〉608㎡である。

〈財務部長〉協議中のその他施設について、すべて緊急防災減災事業債は適用できるのか。

〈消防次長〉すべて対象になる。

〈財務部長〉一般財源からの持出しはないという理解でよいか。

〈消防次長〉よい。

〈教育長〉移転後の東葛城出張所の施設又は跡地の活用方針はどうなっているか。

〈消防次長〉施設を解体し更地にしたうえで、土地を売却する予定。今後調整していく。

〈総合政策部長〉資料に「近隣市町の署所と近接する配置ではないため効率的な活動が可能」という文章があるため、消防署所配置図には、近隣市町の署所の位置も示されたい。また、ゆめヶ丘消防施設等の建設の際には関連部署と十分に連携を図ること。

〈総合政策部長〉本案件について、原案のとおり政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり承認し、政策決定会議に付議する。

令和3年 11 月9日

### 政策調整会議付議依頼書

依頼者名 消防本部 消防長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 付議事項名                            | ① 消防施設計画の策定<br>② ゆめみヶ丘消防施設等の建設について   |
| 付議の目的<br>(ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。) | 市域形状の変化、時代の変化に伴い、多種多様化する災害及び増加の一途を辿る救急事案に対応するため、消防施設適正配置を推進し、市民サービス向上を目的とした施設建設を進めることについて、ご審議いただくため、付議を行う。 |
| 説明者                              | 消防本部 雪本次長、武田総務課長、岬担当司令、坂本係長  |
| 付議事項の概要                          | 様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)   |

|      |                               |
|------|-------------------------------|
| 付議会議 | 令和 3年度 第8回会議                  |
| 付議事項 | 消防施設等建築計画に基づくゆめみヶ丘消防施設等建設について |

★取組の目的

|             |   |
|-------------|---|
| 対象          | ①消防施設等計画の策定 ②ゆめみヶ丘消防施設等建設   |
| どのような状態を目指す | ①消防施設等計画を署所の市域形状に変化に伴う適正配置を策定する。<br>②多種多様化する災害及び増加の一途を辿る救急事案に対応するため、ゆめみヶ丘地内の開発に伴う市域形状の変化を勘案し、消防力が有効に発揮できる消防施設適正配置を推進し、ゆめみヶ丘地内に消防施設等を建築する。 |

★総合計画上の位置付け

|                               |        |                              |
|-------------------------------|--------|------------------------------|
| 104020101                     | 基本目標   | I-4 人も街も災害に強くする              |
| ↑ここにコードを入力<br>(コードは「総計体系」を参照) | 達成された姿 | (2)災害が起こったとき、迅速・的確な対応ができています |
|                               | 目指す成果  | ①災害被害を最小限に抑える危機管理体制が整っている    |
|                               | 行政の役割  | ア 災害対応に必要な施設、物資を適切に配置する      |

★現状と課題

①市域形状の変化に伴い署所の適正配置を再検討する必要がある。  
②現状、東葛城出張所が山手地区の防災拠点として役割を担っているが、市街地への出場に時間を要するため、出場範囲が限られた状態となっている。また、東葛城出張所は庁舎規模(敷地面積含む)が狭く、高齢化が進む山手地区からの救急要請には直近の救急隊常駐消防庁舎(本署及び山直分署)からの出場となるため、現場到着までに時間を要している課題がある。加えて、消防団員拠点施設及び訓練施設、緊急消防援助隊の救助活動等拠点施設並びに防災備蓄倉庫を設置することで地方債(緊急防災・減災事業債)の対象となることを踏まえ、消防本部とは別の防災拠点を設置し、災害時の被災リスクを分散できる体制を構築する。

(単位:千円)

| 実施中の取組及び予定する事項                             | 決算(見込額) |      | 予算額     | 見込額  |        |         |         |      |
|--|---------|------|---------|------|--------|---------|---------|------|
|  | R1年度    | R2年度 | R3年度    | R4年度 | R5年度   | R6年度    | R7年度    | R8年度 |
| ゆめみヶ丘消防施設等基本・実施設計                          |         |      |         |      | 23,000 |         |         |      |
| ゆめみヶ丘消防施設等造成工事及び本体工事                       |         |      |         |      | 58,080 | 325,983 |         |      |
| ゆめみヶ丘消防施設等防災備蓄倉庫及び訓練施設並びにその他施設(防火水槽、自家給施設) |         |      |         |      |        | 協議中     |         |      |
|  |         |      |         |      |        |         |         |      |
|  |         |      |         |      |        |         |         |      |
|  |         |      |         |      |        |         |         |      |
|  |         |      |         |      |        |         |         |      |
| 財源内訳                                       | 国費      |      |         |      |        |         |         |      |
|  | 府費      |      |         |      |        |         |         |      |
|  | 起債      |      |         |      |        | ※81000  | ※325900 |      |
|  | 一般財源    |      |         |      |        | 80      | 83      |      |
|  | その他     |      |         |      |        |         |         |      |
| 事業費  |         |      | 計       | R4年度 | R5年度   | R6年度    | R7年度    | R8年度 |
|  |         |      | 407,063 | 0    | 81,080 | 325,983 | 0       | 0    |

※70%は地方交付税措置されます

★当該事項に関連する人員増の必要性\*

|         |      |      |      |      |      |
|---------|------|------|------|------|------|
| 人員増の必要性 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 |
| 有       | 2    | 4    | 4    |      |      |
| 無       |      |      |      |      |      |

★取組の効果を表す指標

| 指標名            | 単位 | R1年度                     | R2年度 | R3年度 | 目標値  |      |      |                         |      |
|----------------|----|--------------------------|------|------|------|------|------|-------------------------|------|
|                |    |                          |      |      | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度                    | R8年度 |
| ① 山手地区救急到着平均時間 | 分  | 大沢町<br>約16<br>塔原町<br>約20 |      |      |      |      |      | 大沢町<br>約9<br>塔原町<br>約12 |      |
| ②              |    |                          |      |      |      |      |      |                         |      |

※事業費及び人員を確約するものではない。